下野コミュニティエフエム第33回放送番組審議会議事録

開催日時：2026年５月28日15時00分より	開催場所：下野市役所第202会議室
出席委員：伊沢・稲葉・鈴木・田村・本橋	５名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全５名のうち５名の出席をもって会の成立とし、15時00分に開会した。

１．報告事項

事業者より前回審議会以降の運営について報告があった。

・４月１日に番組編成の改訂を行った。
パーソナリティの一部入れ替えや提供番組の新設をした。

・市との連携で「しもつけピタッとラジオ」の特別出張放送を「花まつり」会場の天平の丘公園で４月15日木曜に２時間実施した。
平日だったのでお客さんは少なかったが、市民の方に実際に放送しているところを見ていただけた。

・「クラブゆうがおインフォメーション2026年春号」を４月１日発刊した。

・市防災ラジオの起動試験を月２回隔週木曜に引き続き実施している。

・中学校の職場体験を本年度も受け入れ、５月26・27日の２日間に石橋中学校２年生４名が来社した。６月に国分寺中学校、９月に南河内第二中学校を受け入れる予定。

・市内の催事・行事の取材・中継や、栃木ＳＣの試合の取材も今季も引き続き行っている。
（ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部放送局長）

２．審議事項
■議題①…番組内容について
　事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して各委員が意見を述べた。
※2026年５月７日放送「アフタヌーンプラザ」

事業者：
　(番組の説明)

鈴木委員長：
　放送番組編集基本計画の分類ではどこになるか。
事業者：
　生活情報になるが、行政情報や娯楽の部分もあり、１つの分類に絞るのは難しい。
鈴木委員長：
　情報に娯楽、音楽も入っていて、教養も多少あり、そういった役割ということか。

伊沢委員：
　話題が多く飽きさせないが、もう少しまとまりがあれば。

本橋委員：
　トークが慣れていて聴きやすい。話し方や話題は手厚い。
　ただ、番組の説明に「子育てと暮らしについて」とあるが、子育ての情報はなかった。
事業者：
　今回はなかったが、番組全体として子育ての話題も積極的に入れるという趣旨。

稲葉委員：
　パーソナリティの声や話し方、テンポが聴きやすく、ところどころで話題の特集があり、色々な話題があって良い。

田村委員：
　トークのテンポや抑揚がゆったりと流れを邪魔せず聴きやすく、入り込み過ぎないので仕事の邪魔にもならなず良かった。
　色んなテーマが幅広く用意されていたのは面白い。
海外の観光の話題は面白いが、下野市の観光の話もしてほしい。

鈴木委員長：
　パーソナリティが良い声で高くもなく低くもなくハイテンション風でもなく聴きやすい。
　ただトークのスピードが早いところがあり、特にメッセージ紹介の部分は時間が押していたからか早く感じた。
　また、全体的には落ち着いたトーンだが、ご自身ことに触れた際に不自然な笑いがあり、照れ笑いか、２・３箇所あった。
　防犯情報やチェックインフォメーション、トレンドマイタウンの箇所では冷静で落ち着いた雰囲気だったが、逆を言うと、原稿を読んでいるという印象。
　特に警察署からの情報は専門用語があり、リスナーに解りやすく工夫していただきたい。
　消費者トラブルに関しての情報では、県消費者センターの電話番号を紹介していたが、市内の消費者センターの案内があっても良かったのではないか。
海外の話題はご自身が行かれた体験を基にしていて面白い。ただ、行ったことのない人には共感を得られるかどうか。
クイズも最近の話題に絡めており話題の提供という意味で面白かった。
市内イベントの案内も良い宣伝になりさらに盛り上がるのではないか。
市制20周年の紹介はぎこちない説明だった印象。情報を摘まみ読みしてあまり身が入った説明ではなかった。市は力を入れているが、パーソナリティは軽く流していた印象だ。

■議題②…その他の事項について
・番組編成等について委員より質問があり、事業者が回答した。

３．その他
・次回の開催日時を事務局より提示した。

　以上、16時00分に閉会した。